

令和6年3月18日

保護者の皆様

新潟市立小針中学校
校長 逸見 東子

令和5年度 学校評価アンケート等について報告

教育目標達成のため、今年度は特に「生徒の自治力と自己決定力を高める」ことを基本方針とし、教育活動に取り組んでまいりました。また、保護者の方々からも学校評価に関するアンケートに回答していただき、感謝申し上げます。一年を総括した取組を振り返り、アンケートの回答結果を参考にしながら次年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。この紙面では特に「生徒の自治力と自己決定力を高める」について記載しましたが、他項目の結果や割合は、小針中学校ホームページをご覧ください。

<職員評価結果>

「どんな社会になろうとも、よりよい選択をしながらたくましく生き抜く生徒が育つ学校」を使命ととらえ、教育活動を推進してきました。特に生徒が自分で決める場の意図的な設定を図った特別活動の推進、人と関わり折り合いをつけ、協働できる社会性の育成を目指した生徒指導の推進について、総合評定【B】となりました。授業においては、学習課題に対し、自分の考えを明らかにし、根拠をもって表現したり、発表したりすることをねらいとして実践を行いました。まだ不十分などところが多く、次年度についても授業づくりや諸活動のねらいの柱にして教育活動を展開していきます。

<生徒用生活アンケート、自己決定力アンケート結果>

生徒用生活アンケートについて、「**探究心をもって、自ら進んで学習に取り組んでいる**」や「**自分で考え判断し、勇気をもって自分から行動している**」がおおむね肯定的な回答が多いもの、5月から12月にかけての変化の割合が3学年とも低下した結果でした。自己決定力アンケートについても5月から12月にかけて微増もしくは微減の回答割合でした。

<保護者用学校評価アンケート結果> ※189人より回答 12月に調査

「**教育活動全般において、生徒の自主性や自己決定する力、自発的な行動が育まれている**」の項目について、「あてはまる」44.4%、「ややあてはまる」52.4%の肯定的評価でした。また、学校に望む教育や指導については「**集団との関わり合いや協調、そのためのスキルの獲得**」が全回答の64%で最多でした。ご家庭でのお子さんの様子についても伺うことができ、生徒の成長が実感できたことは嬉しかったです。

上記の結果から次年度についても、継続して生徒の自主性や自己決定する力を各教科の授業や学級活動、生徒会活動等で育成し、集団との協調や学習意欲の向上に注力していきます。

また次年度についても、5月と10月に学年別の授業参観、7月と12月に保護者面談を予定しています。複数の担任が関わって対応するグループ担任制のメリットを生かして、生徒の活躍の姿を丁寧に伝えられるよう努めていきます。最後に、今年度の小針中学校の教育活動にご理解とご協力いただき、大変ありがとうございました。

【学校評価担当】

教務主任 吉野 雅典

☎ 025-267-1851